

単元の学習課題

持続可能なまちづくりのために、尾道市はどのような政策を進めるべきか。

本単元で育成すべき資質・能力

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性等
地方自治の基本的な考え方や仕組み、地方財政の現状と課題などについての理解。	よりよい尾道市を作るための政策について、多面的・多角的に考察し、公正に判断する力。	身近な地域の政治に関心を持ち、自分も住民の一人として住民自治を担う存在であることを自覚することができる。

【単元のねらい】 地方自治や我が国の民主政治の発展に寄与しようとする自覚や住民としての自治意識の基礎を育成する。

【目標】「持続可能なまちづくりのために、尾道市はどのような政策を進めるべきか」という学習課題を追求する活動を通して、地方自治の仕組み役割、地方財政の特色を理解させるとともに、地方自治への関心を高め、より現実的な「持続可能なまちづくり」のための政策を提案できるようにする。

単元のまとめ

地方自治の課題と、尾道市ならではの課題と方策をまとめてみよう。

- ・**知** 地方財政は地域により大きく違い、地方では少子高齢化による税収減をどのように解決するかが大きな課題であるということがわかった。
- ・**思** 尾道市では、財政難や山間部や島しょ部の交通などの課題があり、これを解決するために、観乗り合いタクシーなどを導入したりすることで解決できるのではないかと考えた。
- ・**主** 尾道市の政治や行政に関心を持って、地方自治に積極的に参加していきたい。

第5時 これからの地方自治

地方公共団体や地域との関わりの中で、中学生としてどのような役割が担えるか、主体的に考えている。**主**

第4時 尾道市のまちづくりを考える

よりよい尾道市を作るための政策について、多面的・多角的に考察し、公正に判断することができる。**思**

第3時 地方財政の現状と課題

地方公共団体の財政についての問題点を資料から読み取っている。**知**

第2時 地方公共団体のしくみと政治参加

地方公共団体の役割や仕組みについての知識を身につけている。**知**

第1時 地方自治と地方公共団体

身近な地域の政治に関心を持ち、自分も住民の一人として住民自治を担う存在であることに気づいている。**主**
地方公共団体の役割や仕組みについての知識を身につけている。**知**

【単元の入り口】生徒の姿

生まれたときから尾道市に住んでおり、地元へ愛着を持っている生徒が多い。一方で、将来もこのまちに住み続けたいと思っている生徒は少ない。また、尾道の市政に関する意識は低い。